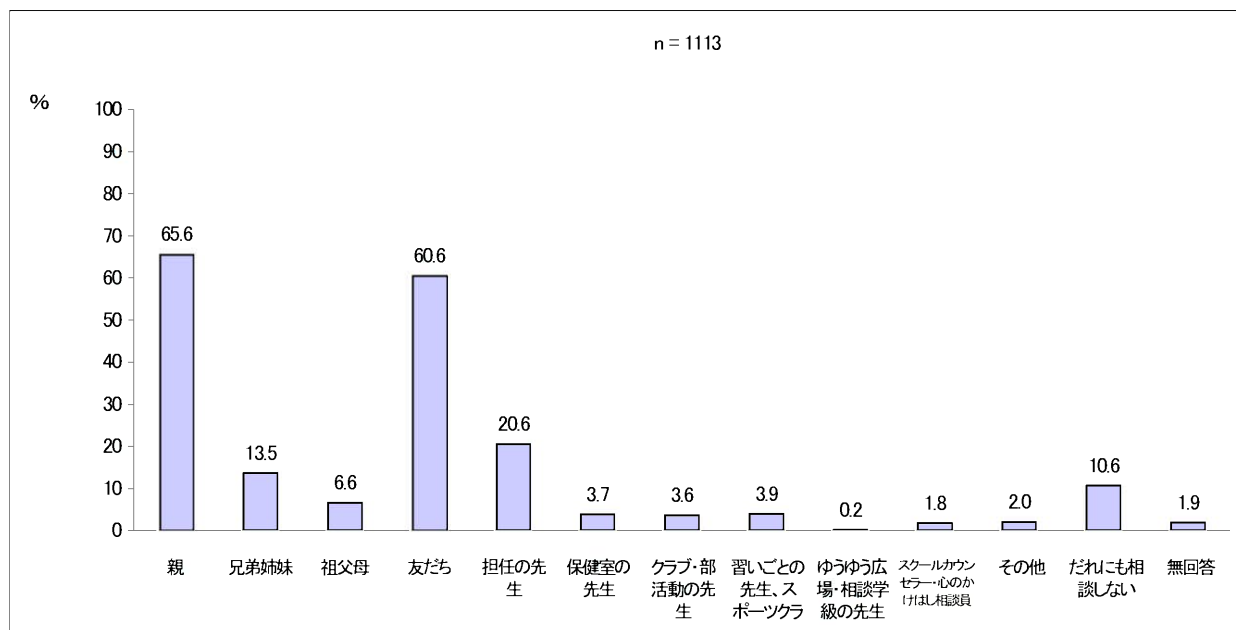


## エ 相談しようと思う人

子ども全体でみると、困ったり悩んだりしたときに相談する人として最も高い回答は「親」65.6%で、次いで「友だち」60.6%であった。また、「だれにも相談しない」という回答が10.6%あった。

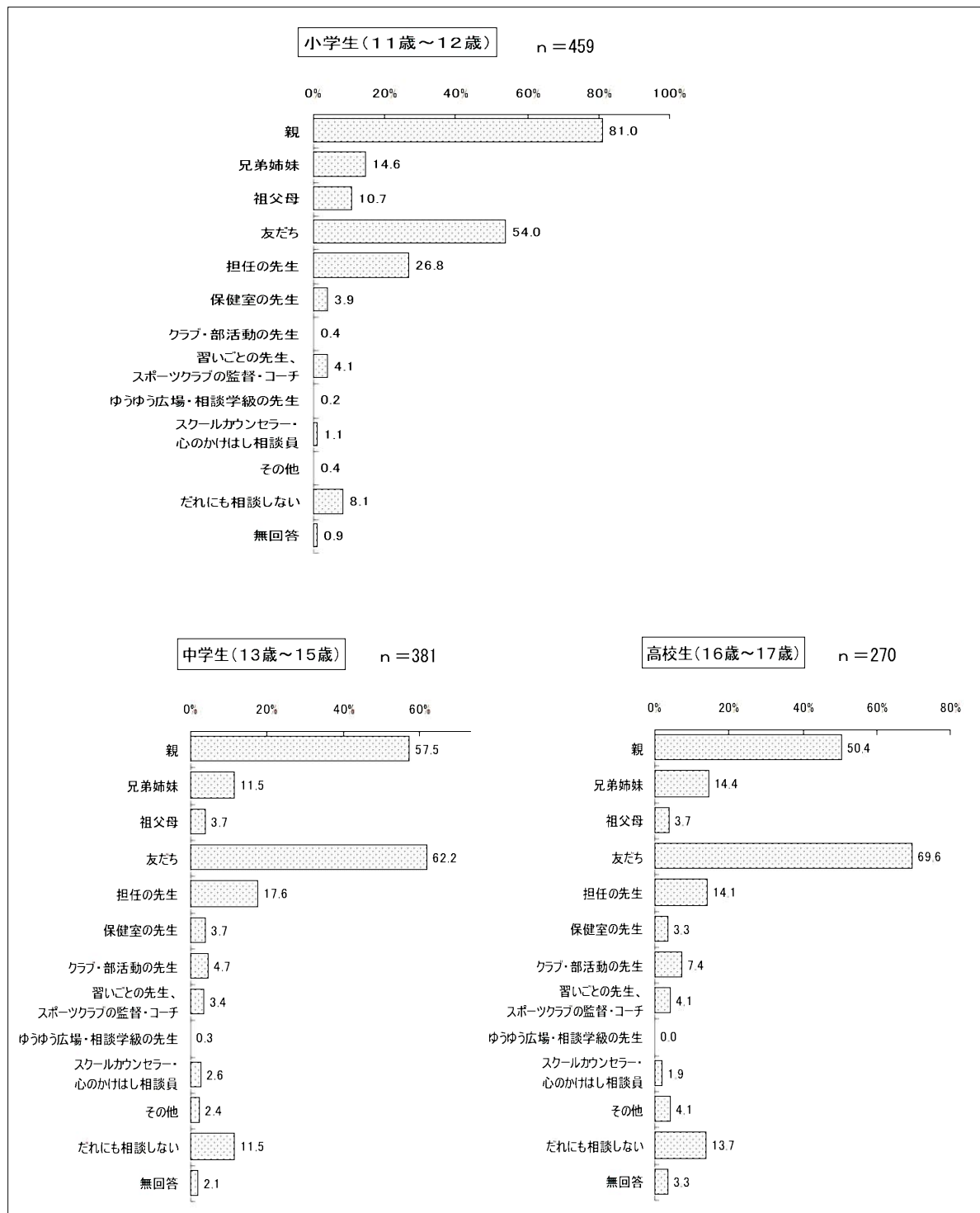
### Q 11 困ったり悩んだりしたとき、だれに？相談しますか

図 6 9 【子ども—全体】



年齢別に見ると、小学生世代で「親」と回答する割合は81.0%であるが、中学生世代になると57.5%、高校生世代で50.4%と減少する。特に小学生から中学生へと年齢があがるところで大きく減少する。逆に、「友だち」をあげる回答が小学生世代で54.0%、中学生世代で62.2%、高校生世代で69.6%と増加する。また、「だれにも相談しない」という回答も、小学生世代で8.1%、中学生世代で11.5%、高校生世代で13.7%とわずかながら増加する。

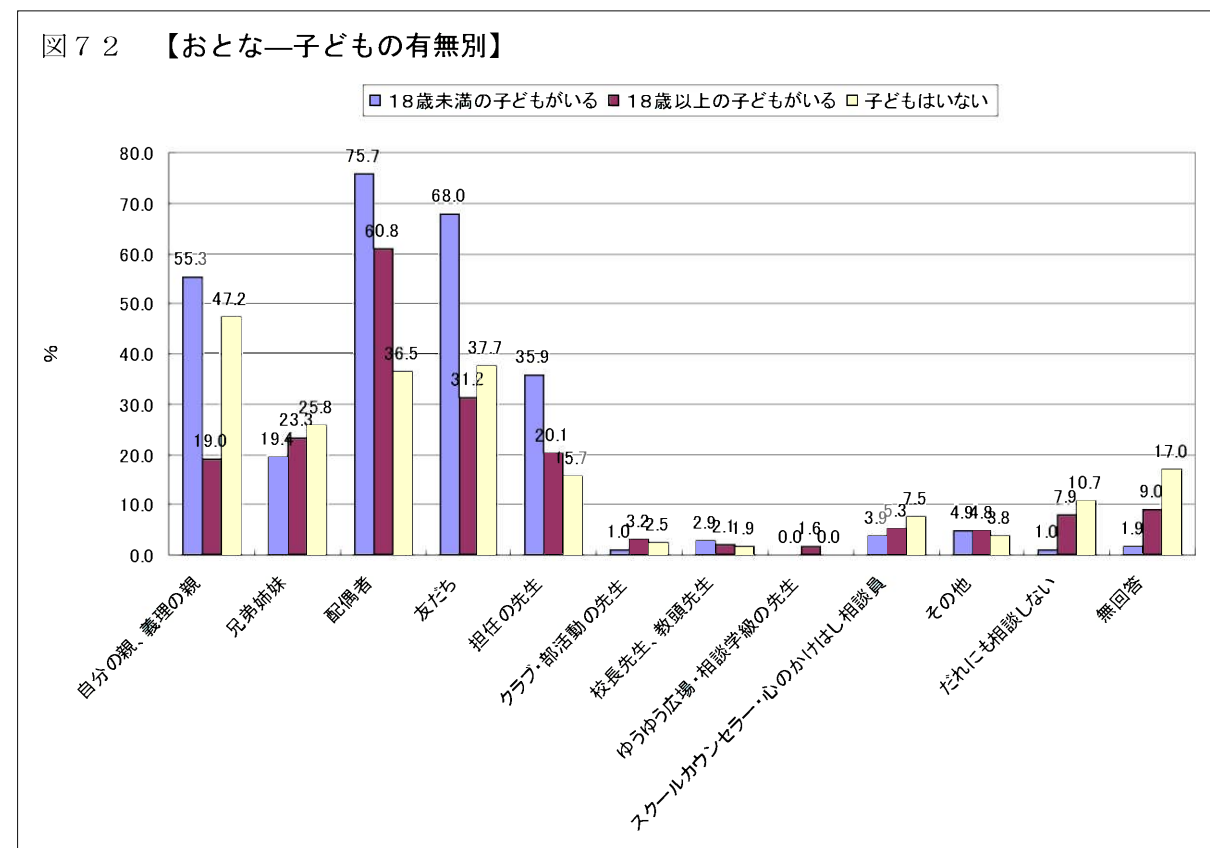
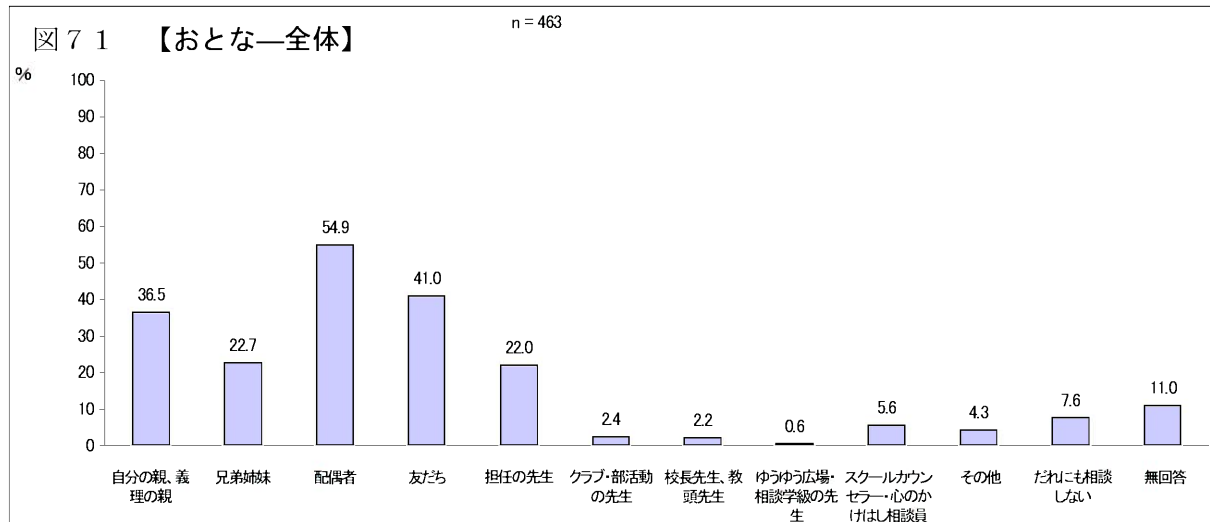
図70 【子ども—年齢別】



【おとな】

相談しようと思う人について、おとな全体でみると、多い回答は「配偶者」54.9%、「友だち」41.0%、「自分の親、義理の親」36.5%であった。これを子どもの有無別でみると、18歳未満の子どもがいるおとなの回答は、その他のおとなの回答よりどれも高い回答で、「配偶者」が75.7%、次いで「友だち」が68.0%、「自分の親、義理の親」が55.3%であった。それ以外で比較的高かったのが「担任の先生」で35.9%であった。

Q17 あなたは、子どものことで困ったり悩んだりしたとき、だれに？相談しますか



## 【職員】

職員全体で多い回答は「管理職」54.3%、「校長先生、教頭先生」34.9%、「配偶者」34.4%であった。学校・施設別にみると、学校関係の職員の場合は「管理職」60.9%、「校長先生、教頭先生」47.4%が多いのが特徴的であり、施設関係の職員の場合は「友だち」41.3%、「管理職」40.5%、「配偶者」39.7%が多かった。

### Q14 あなたは、子どものことで困ったり悩んだりしたとき、だれに？相談しますか

